

科学研究費補助金（学術創成研究費）事後評価結果

課題番号	16GS0203	研究期間	平成16年度～平成20年度
研究課題名	ソフトマター：多自由度・階層系の協同的機能発現の新しい基本原理		
研究代表者名 (所属・職)	田中 肇（東京大学・生産技術研究所・教授）		

【平成22年度 事後評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い
（評価意見）		
<p>ソフトマターは古くからの研究分野であるが、この10数年における研究の進展と広がりには顕著である。本研究は、階層性・動的非対称性・自由度間結合とフラストレーションといった普遍的な概念を、研究代表者が見出した粘弾性相分離、液体-液体転移などに適用し、この分野の研究に新しい方向性を与えた。また、質の高い諸雑誌への研究成果の発表や、国際会議での招待講演などを通じて、ソフトマター研究の世界的な広がりの中で、日本の研究の重みを高め、世界的にも研究を牽引してきた点で、学術創成研究費としての期待を十分に果たしたと評価できる。</p>		